

## 作業部会【おおむね6ヶ月～1歳3ヶ月未満】

頭士 恵子（田町保育園 保育士）

齋藤 恵（高田幼稚園 教諭）

常藤 幸枝（作陽保育園 保育士）



藤野 玲子（大崎保育園 副主任）

小倉 真理（加茂保育園 主任）

おもな発達の特徴 おおむね6ヶ月～1歳3ヶ月未満

| 理念       | 保育内容（5領域） |  | おもな発達の特徴  |
|----------|-----------|--|---|
| 健康な心と体   | 健康        | 身体・運動機能                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>○座る、はう、つかまり立ち、伝い歩きなど全身を動かす。</li> <li>○両手に物を持ったり、引っぱったり、つまんだりする。</li> <li>○口の中に玩具を入れ、なめたり、噛んだりする。</li> </ul>                              |
|          | 健康        | 基本的な生活習慣                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>○離乳食を食べる。</li> <li>○いろいろな味に慣れる。</li> <li>○自分でつまんで食べようとする。</li> </ul>   |
| 自信と信頼    | 人間関係      | 人とかかわる力<br>自立心<br>協同<br>規範意識など         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○特定の大人とのかかわりができる。</li> <li>○後追いをして泣く。</li> <li>人見知りをする。</li> </ul> <p>もぐもぐごっくん<br/>おいしいね</p> <p>人見知り</p>                                 |
|          | 環境        | 好奇心<br>探究心<br>生活に取り入れる力など              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○好きな玩具で一人遊びをする。</li> </ul>   |
| 命と自然     | 言葉        | 話す力<br>聞く力<br>言葉で表現する力<br>など           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○簡単な言葉の意味がわかるようになる。</li> <li>○喃語が盛んになる。</li> <li>○指差し、身振りなどで気持ちや欲求を表す。</li> <li>○好きな絵本を読んでもらい、真似して言葉を発する。</li> </ul> <p>まんま<br/>プープー</p> |
| 豊かな情操と賢さ | 表現        | 豊かな感性や表現力<br>想像力<br>描く<br>作る<br>リズム など | <ul style="list-style-type: none"> <li>○興味をもった身近な素材に触れて、感触を楽しむ。</li> <li>○歌や手遊びに合わせて、喜んで手や体を動かそうとする。</li> </ul> <p>バイバイ<br/>ちょうだい</p>   |
|          | 表現        | 豊かな感性や表現力<br>想像力<br>描く<br>作る<br>リズム など | <ul style="list-style-type: none"> <li>○興味をもった身近な素材に触れて、感触を楽しむ。</li> <li>○歌や手遊びに合わせて、喜んで手や体を動かそうとする。</li> </ul>   |

## おおむね1歳3ヶ月未満 6ヶ月～7ヶ月

|   |   |                        |  |              |   |        |   |        |   |                                      |   |
|---|---|------------------------|--|--------------|---|--------|---|--------|---|--------------------------------------|---|
| 発達<br>の<br>主<br>な<br>特<br>徴               | <ul style="list-style-type: none"> <li>離乳食が始まり、おかゆやたんぱく質（白身魚）が食べられるようになる。舌で押し出したり、味を確かめたり飲み込んだり、口をモグモグ動かしてみたりする。お座りができるようになると、ベビーラックなどに座り、食べさせてもらう。舌でつぶせる固さのものが食べられるようになる。個人差により、食後にミルクを飲んでいる。離乳食が始まるが、栄養が足りないので、午前睡と午後睡の前にミルクを飲む。おやつは、果汁などで、いろいろな味を知っていく。</li> <li>離乳食の進み具合により、便の色や形、量も変わってくる。おしめを交換してもらい、きれいにしてもらって、気持ち良さを感じることができる。</li> <li>お腹が満たされると、満腹感を感じ、ぐっすり眠る。哺乳瓶をくわえながら、眠る子どももいる。午前睡は、30分から、1時間ほどで起こし、リズムを整えていく。光や音に反応したり、抱かれたりして起きる。</li> <li>首が座り、うつぶせ姿勢で、顔をあげられるようになり、寝返りもできる。機嫌がよいと、腹ばいで頭をあげ、手足をバタバタと動かしたり、近くの玩具に手を伸ばして、つかもうとする。つかんだものを確かめようとするのか、口に持って行きやすい。両脇で支えられて、膝の上に立たせてもらうと、足をピンピン弾ませる。母体免疫が弱まり、感染症にかかりやすくなる。（突発性発疹、RSウイルスなど）</li> <li>特定の大人が分かるようになり、人見知りをすることもある。何となく、自分の名前が呼ばれているのが、わかる気がする。</li> <li>機嫌よく遊んだり、保育者が声を掛けたりすると、「あーあー」などの喃語を言う。大人との関わり（手遊びや歌）で、嬉しそうにする。</li> </ul>  |                        |  |              |   |        |   |        |   |                                      |   |
| ねらい<br>(教育・<br>養育)                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>少しずつ離乳食を食べ、いろいろな味に慣れる。</li> <li>喃語や身ぶり、手指や体の動きなどに対して応答的にかかわり、探索活動の意欲が高まるようにする。</li> <li>安心できる特定の大人とのかかわりの中で、快適に過ごせるようにする。</li> </ul>   |                        |  |              |   |        |   |        |   |                                      |   |
| 経験<br>させ<br>たい<br>内容                      | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">健康<br/>な<br/>心<br/>と<br/>体</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>離乳食を開始し舌でつぶせる固さの物を食べたり、乳以外のいろいろな味のものを食べる。</li> <li>おしめを定期的に替えてもらい、気持ちよさを味わう。</li> <li>満腹感を感じ、個々のリズムで気持ち良く安心して眠る。</li> <li>着替えの時には、動作を一つ一つ言葉にしなが、替えてもらい、心地よさを感じる。</li> <li>手を洗ったり、鼻水をとってもらったりすることで、気持ちよさを感じる。</li> <li>寝返り、腹ばい、うつぶせなど、それぞれの状態に合ったかかわりをする中で、のびのびと手足を動かして遊ぶ。</li> <li>腹ばいで目の前にある物をつかもうとする。</li> <li>泣きの理由を受け止めてもらい、安心して過ごす。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">人間<br/>関<br/>係</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>抱っこされたり、優しく声をかけてもらったりしながら、ゆったりとした雰囲気の中で保育者との1対1の触れ合いの楽しさを味わう。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">環<br/>境</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>戸外に出て外気に触れ、いろいろな生き物や景色を見て楽しむ。</li> <li>安心できる環境の下で機嫌よく過ごす。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">言<br/>葉</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>名前の呼びかけや子守唄、あやし歌に反応して、喃語を発したり大人の声ややりとりを心地よいと感じたりする。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">豊<br/>か<br/>な<br/>情<br/>操<br/>と<br/>賢<br/>さ</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な人の声や動きを見たり聞いたりして手足を盛んに動かしたり声を出したりする。</li> <li>空腹や眠たいときに泣いて保育者に伝えようとする。</li> </ul> </td> </tr> </table> | 健康<br>な<br>心<br>と<br>体 | <ul style="list-style-type: none"> <li>離乳食を開始し舌でつぶせる固さの物を食べたり、乳以外のいろいろな味のものを食べる。</li> <li>おしめを定期的に替えてもらい、気持ちよさを味わう。</li> <li>満腹感を感じ、個々のリズムで気持ち良く安心して眠る。</li> <li>着替えの時には、動作を一つ一つ言葉にしなが、替えてもらい、心地よさを感じる。</li> <li>手を洗ったり、鼻水をとってもらったりすることで、気持ちよさを感じる。</li> <li>寝返り、腹ばい、うつぶせなど、それぞれの状態に合ったかかわりをする中で、のびのびと手足を動かして遊ぶ。</li> <li>腹ばいで目の前にある物をつかもうとする。</li> <li>泣きの理由を受け止めてもらい、安心して過ごす。</li> </ul> | 人間<br>関<br>係 | <ul style="list-style-type: none"> <li>抱っこされたり、優しく声をかけてもらったりしながら、ゆったりとした雰囲気の中で保育者との1対1の触れ合いの楽しさを味わう。</li> </ul> | 環<br>境 | <ul style="list-style-type: none"> <li>戸外に出て外気に触れ、いろいろな生き物や景色を見て楽しむ。</li> <li>安心できる環境の下で機嫌よく過ごす。</li> </ul> | 言<br>葉 | <ul style="list-style-type: none"> <li>名前の呼びかけや子守唄、あやし歌に反応して、喃語を発したり大人の声ややりとりを心地よいと感じたりする。</li> </ul> | 豊<br>か<br>な<br>情<br>操<br>と<br>賢<br>さ | <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な人の声や動きを見たり聞いたりして手足を盛んに動かしたり声を出したりする。</li> <li>空腹や眠たいときに泣いて保育者に伝えようとする。</li> </ul> |
| 健康<br>な<br>心<br>と<br>体                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>離乳食を開始し舌でつぶせる固さの物を食べたり、乳以外のいろいろな味のものを食べる。</li> <li>おしめを定期的に替えてもらい、気持ちよさを味わう。</li> <li>満腹感を感じ、個々のリズムで気持ち良く安心して眠る。</li> <li>着替えの時には、動作を一つ一つ言葉にしなが、替えてもらい、心地よさを感じる。</li> <li>手を洗ったり、鼻水をとってもらったりすることで、気持ちよさを感じる。</li> <li>寝返り、腹ばい、うつぶせなど、それぞれの状態に合ったかかわりをする中で、のびのびと手足を動かして遊ぶ。</li> <li>腹ばいで目の前にある物をつかもうとする。</li> <li>泣きの理由を受け止めてもらい、安心して過ごす。</li> </ul>  |                        |  |              |   |        |   |        |   |                                      |   |
| 人間<br>関<br>係                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>抱っこされたり、優しく声をかけてもらったりしながら、ゆったりとした雰囲気の中で保育者との1対1の触れ合いの楽しさを味わう。</li> </ul>   |                        |  |              |   |        |   |        |   |                                      |   |
| 環<br>境                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>戸外に出て外気に触れ、いろいろな生き物や景色を見て楽しむ。</li> <li>安心できる環境の下で機嫌よく過ごす。</li> </ul>   |                        |  |              |   |        |   |        |   |                                      |   |
| 言<br>葉                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>名前の呼びかけや子守唄、あやし歌に反応して、喃語を発したり大人の声ややりとりを心地よいと感じたりする。</li> </ul>   |                        |  |              |   |        |   |        |   |                                      |   |
| 豊<br>か<br>な<br>情<br>操<br>と<br>賢<br>さ      | <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な人の声や動きを見たり聞いたりして手足を盛んに動かしたり声を出したりする。</li> <li>空腹や眠たいときに泣いて保育者に伝えようとする。</li> </ul>   |                        |  |              |   |        |   |        |   |                                      |   |
| 環<br>境<br>構<br>成<br>と<br>援<br>助           | <ul style="list-style-type: none"> <li>離乳食が始まるので、保育者・栄養士・保護者と連携をとって進めていく。食事の前には感染症防止の為に、個々にアルコール消毒を行う。一人一人の発達に応じたベビーラックや卓上椅子を準備する。</li> <li>大便の始末をする場合は、感染防止の為に手袋をつける。おしめマットは、清潔を保つためにこまめに交換する。</li> <li>一人一人の生活リズムに合った眠りと目覚めが保障できるように、ベビーベッドやカーテンを利用していき。午前睡は、生活のリズムを整えていくために、30分から1時間まで起こすようにする。睡眠中の突然死を防ぐために、保育者が顔色・呼吸などを観察し、個々の睡眠チェック表をつける。</li> <li>健康状態を把握するために、定期的に検温をする。</li> <li>つまんだり、握ったりできるものや、音の鳴るもの、固さや感触の違うものなど、いろいろな玩具を用意しておく。</li> <li>床に布を敷いたりうつぶせ姿勢をフォローするためにタオルを挟んだり、クッションを利用したりして安全に過ごせるようにする。</li> <li>寝返りやハイハイを始めるので、上下分かれた動きやすい衣服にする。</li> <li>泣きの理由を受け止め、タイミングよく対応していくことで、信頼関係が深まるようにする。</li> <li>優しい声で、名前を呼び掛けたり歌をうたったり、喃語に回答して子どもとの1対1のかかわりを十分もつようにする。</li> <li>戸外に出る時には、ベビーカーを用意したり、泣いた時に対応できるようにおんぶ紐を携帯したりしておく。</li> <li>園庭の特定のコーナーに敷物やマットを敷いて、安心して安全に腹ばいなどになって遊べるようにする。</li> <li>使用した遊具は、消毒して清潔しておく。</li> </ul>   |                        |  |              |   |        |   |        |   |                                      |   |
| 家<br>庭<br>・<br>地<br>域<br>と<br>の<br>連<br>携 | <ul style="list-style-type: none"> <li>離乳食は、保護者と連絡を取り合い、形状や量を話し合って進めていく。</li> <li>ミルクの名柄を尋ね、家庭と同じミルクを準備する。</li> <li>アレルギーの有無を尋ね、医師の診断の下、除去食を準備する。</li> <li>連絡ノートを毎日交換し合い、ミルクを飲む時間や大便の量など詳細の様子を伝え合うようにする。</li> <li>38度以上の発熱や嘔吐などの異常が見られた場合は早急に連絡する。</li> <li>6カ月を過ぎると母体免疫が弱まり、感染症にかかりやすくなるので、クラス便りや口頭、掲示板で感染症などについて、保護者が安心して対応できるように早急に知らせる。</li> </ul>  |                        |  |              |   |        |   |        |   |                                      |   |

## おおむね1歳3ヶ月未満 8ヶ月～9ヶ月

|                       |   |   |
|-----------------------|---|---|
| 発達<br>の<br>主な<br>特徴   | <ul style="list-style-type: none"> <li>離乳食（固めのおかゆ、みじんぎりのおかず）の量が増え、離乳食での栄養を摂ることが主となるので、一日のトータルで飲むミルクの量が減ってくる。いろいろな味に慣れてくる。手の動きも自由になってきて、形あるものは親指と人差し指でつまんで食べようとする。</li> <li>一定の時間におしめ交換をしてもらい喜ぶ。食事の手拭きや食後の口ふきなどをしてもらう。</li> <li>はいはい、つかまり立ちなどをして、全身の動きが活発になる。</li> <li>身近な大人との関係の中で、自分の意志や要求を身振りや「マンマ」など意味のある言葉で伝えようとする。喃語が盛んになる。</li> <li>特定の大人とのかかわりができて甘えたり、後追いをしたりするようになる。</li> <li>いつも一緒にいる人の顔をよく覚え、知らない人を見ると、人見知りをして泣くことが多くなる。</li> <li>名前を呼ばれると笑ったり、振り向いたりして反応を示す。</li> <li>歯が生えだし、よだれが多くなる子どももいる。</li> </ul>   |   |
| ねらい<br>(教育・<br>養育)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>全身を使った遊びやふれあい遊びを保育者と十分楽しむ。</li> <li>一人一人の子どもの生理的欲求を満たし、安定した生活リズムの中で、気持ちのよい生活が送れるようにする。</li> <li>特定の大人が喃語や身振りに優しく繰り返し応答することで、愛着心や信頼感を育む。</li> </ul>   |   |
| 経験<br>させ<br>たい<br>内容  | 健康<br>な<br>心と<br>体  | <ul style="list-style-type: none"> <li>離乳食に慣れ、意欲的に手づかみで食べようとし、食べることを楽しむ。</li> <li>おしめが濡れたら、泣いたり、声に出して知らせ、保育者に替えてもらって気持ちよさを感じる。</li> <li>午前と午後に、一定時間安心して眠る。</li> <li>気温や体調に応じて衣服の調節をしてもらい、気持ちよく過ごす。</li> <li>沐浴で肌を清潔にってもらい、気持ちよく過ごす。</li> <li>食事の手拭きや食後の口拭きなどをしてもらい気持ちよさを感じる。</li> <li>周囲の人や物に興味をもち、はいはいやつかまり立ちなど、手足を使って探索活動をする。</li> <li>応答的な環境の中で、特定の大人との絆を深める。</li> </ul> |
|                       | 人間<br>関係  | <ul style="list-style-type: none"> <li>特定の大人や友達に関心をもち、あやしてもらおうと喜んだり、模倣して遊んだりする。</li> <li>保育者とのふれあい遊び（たかいたがい、いないいないばあ、一本橋こちょこちょなど）やかかわりを喜ぶ。</li> </ul>   |
|                       | 自信<br>と<br>信頼   | <ul style="list-style-type: none"> <li>衛生的で安全な環境の中でゆったり過ごす。</li> <li>戸外遊びや散歩を通して、四季の自然や身近な小動物などを見たり、触れたりしながら、興味の幅を広げていく。</li> <li>広い空間でののびのびと動き、聞く、見る、触れる、嗅ぐ、味わうなどの感覚の動きを豊かにする。</li> <li>好きなおもちゃ（引っ張るおもちゃ、動くおもちゃなど）や遊具に興味をもってかかわり、さまざまな遊びをする。</li> </ul>  |
|                       | 命と<br>自然  | <ul style="list-style-type: none"> <li>喃語が盛んになり、気持ちや意欲を「アーアー」「ウーウー」と声を出したり、表情や身振りで伝えようとする。</li> <li>「まんま」と意味ある片言を話し、相手に伝えようとする。</li> <li>特定の大人にゆっくり、やさしく、はっきりと語りかけてもらい喜ぶ。</li> </ul>  |
|                       | 豊かな<br>情緒   | <ul style="list-style-type: none"> <li>あやしてもらったり、手遊びをしてもらったり、歌をうたってもらったりすることを喜び、一緒に手足を動かしたり、体を揺らしたりする。</li> <li>音が出る玩具を振ったり、たたいたりして、音を出すことを喜ぶ。</li> </ul>   |
| 環境<br>構成<br>と<br>援助   | <ul style="list-style-type: none"> <li>何でも口に入れる頃なので、小さいものや危ないものがないか点検をする。</li> <li>座る、はう、立つ、つたい歩くなどの運動機能の発達が順調に進んでいくように、広くて安全な場所の準備をし、ベビーカーでの散歩や戸外、室内でのさまざまな遊びを取り入れる。</li> <li>玩具の日光消毒、室内外の遊具の安全点検をこまめにし、探索活動が存分に楽しめるようにする。</li> <li>オルゴール曲や童謡、子守唄などさまざまなBGMを用意し、状況に応じて流す。</li> <li>季節の行事が感じられる壁画やディスプレイを飾り、視覚的に楽しめるようにする。</li> <li>視診、触診を丁寧におこなって、一人一人の健康状態を把握し、体調に変化がある場合は速やかに対処する。</li> <li>離乳食は一人一人の進み具合に応じて、おかゆの固さやおかずの刻みの大きさを変えたものを与えられるよう、栄養士、保育者、家庭と連絡をこまめにとる。</li> <li>夏場はこまめに沐浴をし、あせもやかぶれを予防する。</li> <li>一対一のスキンシップを図りながら、保育者との信頼関係を築いていく。</li> <li>人見知りをして泣く子どもには、すぐそばに行ったり、抱っこしたりして、安心できるようにする。</li> <li>人見知りや不安、甘え、怒りなど一人一人の感情表現を大切に受け止め、応答やスキンシップなどで保育者との親しみが深まるようにする。</li> <li>触ると音の出るものや、やわらかい素材の物など興味をもちそうな玩具を手の届くところに用意しておく。</li> </ul> |   |
| 家庭・<br>地域<br>との<br>連携 | <ul style="list-style-type: none"> <li>相互の連絡帳（検温、食事、睡眠、排排便、投薬の有無など）や送迎時を通して、子どもの様子を伝え合い、状態を把握し、共通理解をする。</li> <li>日頃から保護者と子育てについての思いを共感し、信頼関係を築き、安心して子育てできるようにする。</li> <li>流行性疾患についての特徴や情報を伝え、疾患の早期発見、早期治療に努める。</li> <li>離乳食の進め方や体調不良の食事内容について連絡を取り合い、子どもの状態に合わせておかゆやおかずの形態を変えたり、食材を増やしたりする。</li> <li>人見知りをして、特定の保育者と関係を深めていることを伝え、保護者が安心できるようにする。</li> <li>子どもの体に合った動きやすい衣服を用意してもらう。</li> </ul>   |   |

おおむね1歳3ヶ月未満 10ヶ月～11ヶ月

|                    |   |               |   |             |   |              |   |             |  |              |  |
|--------------------|---|---------------|---|-------------|---|--------------|---|-------------|--|--------------|--|
| <p>発達の子どもの主な特徴</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・離乳食は後期になり、やや粗い大きさ（歯茎でつぶれる固さ）の物が食べられるようになる。自分で食べたいという気持ちがあり、手づかみで食べたり、スプーンやフォークやコップを持とうとする。「いただきます」や「ちょうだい」の時には、両手を合わせる素振りをする。午後睡前にミルクを欲しがり、フォローアップミルクを100cc程飲んでから眠る子どももいる。</li> <li>・一定の時間におしめ交換をしてもらい喜ぶ。</li> <li>・午前睡の時間が短くなり、午後睡の時間が長くなる。</li> <li>・はいはいがしっかりし移動範囲が広がる。緩やかな斜面をはいはいで登る。くぐったり、マットを登ったりする。つかまり立ちからつたい歩きをしたり、短時間の宙立ちもでき始める。机の上に登ろうとしたり、机の上の玩具を見つけて立ち上がり、手を伸ばして玩具を取ろうとする。ロッカーの引き出しを開けて、服を引っ張り出す。お座りの姿勢でチェーンを引っ張ったり、箱からボールを出したり、ペットボトルのガラガラを振ったりなど、一人遊びを楽しめるようになる。友達を少し意識したり、同じ玩具で遊ぼうとする時もある。「ないないしようね」と言うと、お片付けをしようとしカゴを近づけると玩具を入れる。絵本をペラペラめくる。</li> <li>・「まてまて」と追うと、喜んで笑いながら逃げようとする。特定の大人とのかかわりができて甘えたり、後追いをして泣く事が多くなる。人見知りをして、泣く事がある。</li> <li>・バイバイに手を振って応える。名前を呼ばれると、手を挙げて笑う。「いないいないばあー」を喜び、「ばあ」と言う。「まんま」など、意味のある言葉が始められる。手遊びや絵本を見せると、保育者の方に注目したり喜んで体を揺らしたりする。「ちょうだい」と言うと、手に持っているものを渡そうとする。拍手などの身振りを真似る。目の前のおもちゃを隠すと探す。</li> </ul>  |               |   |             |   |              |   |             |  |              |  |
| <p>ねらい（教育）</p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体を十分に動かして（はう・登る・降りる・押す・引っ張る）、安全な環境の中で探索活動を楽しむ。</li> <li>・自分で食べたい気持ちを大切に、食べる意欲が高まるようにする。</li> <li>・模倣しやすい言葉や動作で応答することにより、安心して過ごし、表情や感性が豊かになるようにする。</li> </ul>   |               |   |             |   |              |   |             |  |              |  |
| <p>経験させたい内容</p>    | <table border="1"> <tr> <td data-bbox="228 701 284 992"> <p>健康な心と体</p> </td> <td data-bbox="284 701 1441 992"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・離乳食後期になり、やや粗く刻んだものを食べさせてもらい、手づかみで食べられるものは自分から進んで食べようとする。</li> <li>・コップを両手でしっかり持ったり、自分で持って食べたりして、さまざまな味や食品に慣れる。</li> <li>・活動の合間に定期的におしめを替えてもらい、気持ちよく過ごす。</li> <li>・自分の布団の中で、一定時間安心して眠る。</li> <li>・保育者の膝の上に乗ってズボンをはかせてもらうなど、声をかけられながら、落ち着いて着替える。</li> <li>・生活リズムが整い、睡眠・食事・排泄・着脱など保育者からの誘いに応じる。</li> <li>・誘いかけに応じて、保育者と一緒に手を洗ったり鼻水をためてもらったりすることで気持ち良さを感じる。</li> <li>・運動機能が発達し、自由に両手を使い周囲の人や物に興味をもち、くぐる・掘む・登る・降りるなどいろいろな動きをしながら、探索行動を楽しむ。</li> <li>・興味のある物を親指と他の指を向かい合わせて指でつかもうとする。（拇指対向性）</li> <li>・動作1つ1つや気持ちなどを言葉にしてもらう事で安心して過ごす。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="228 992 284 1081"> <p>関人関係</p> </td> <td data-bbox="284 992 1441 1081"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あやしてもらおうと喜んだり身振りを真似たり顔を見合わせるなどして、生活や遊びの中で身近な人に興味をもち、身近な大人とのやりとりをする。</li> <li>・担当保育者に十分に接してもらい、安心して園生活を過ごす。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="228 1081 284 1193"> <p>自信と信頼</p> </td> <td data-bbox="284 1081 1441 1193"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つかまり立ちやつたい歩きがしやすいような柵や手すりなどを使って十分動く。</li> <li>・素足で過ごす気持ちよさを味わう。</li> <li>・気に入った玩具を手にして遊んだり、色々な素材の遊具で遊んだりする。（チェーン・ロープ・穴落とし・はがす・引っ張る・握る）</li> <li>・戸外遊びを通じて、動植物に親しんだり、直接草花に触れたりして体験を広げていく。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="228 1193 284 1305"> <p>命と自然</p> </td> <td data-bbox="284 1193 1441 1305"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな絵本を繰り返し読んでもらうことを喜ぶ。</li> <li>・安心できる大人が、ゆっくり優しく語りかける事で、口元の動きを模倣し、声を出し言葉を真似しようとする。</li> <li>・行動一つ一つに言葉がけをしてもらい、その内容を徐々に理解していく。</li> <li>・名前を呼ばれたり、手遊びや歌を聞いたりして、保育者とのコミュニケーションを楽しむ。</li> <li>・保育者に気持ちをくみ取ってもらい、言葉にしてもらいながら、喃語や単語のやりとりをする。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="228 1305 284 1413"> <p>豊かな情緒</p> </td> <td data-bbox="284 1305 1441 1413"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の欲しいものやして欲しいことを、指差しや喃語で表す。</li> <li>・歌や手遊びに合わせて、体を揺らしたりリズムをとったりする。</li> <li>・興味をもった素材（タンポ・手形・シールはがしなど）に触れて、感触を楽しみながら遊ぶ。</li> </ul> </td> </tr> </table> | <p>健康な心と体</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・離乳食後期になり、やや粗く刻んだものを食べさせてもらい、手づかみで食べられるものは自分から進んで食べようとする。</li> <li>・コップを両手でしっかり持ったり、自分で持って食べたりして、さまざまな味や食品に慣れる。</li> <li>・活動の合間に定期的におしめを替えてもらい、気持ちよく過ごす。</li> <li>・自分の布団の中で、一定時間安心して眠る。</li> <li>・保育者の膝の上に乗ってズボンをはかせてもらうなど、声をかけられながら、落ち着いて着替える。</li> <li>・生活リズムが整い、睡眠・食事・排泄・着脱など保育者からの誘いに応じる。</li> <li>・誘いかけに応じて、保育者と一緒に手を洗ったり鼻水をためてもらったりすることで気持ち良さを感じる。</li> <li>・運動機能が発達し、自由に両手を使い周囲の人や物に興味をもち、くぐる・掘む・登る・降りるなどいろいろな動きをしながら、探索行動を楽しむ。</li> <li>・興味のある物を親指と他の指を向かい合わせて指でつかもうとする。（拇指対向性）</li> <li>・動作1つ1つや気持ちなどを言葉にしてもらう事で安心して過ごす。</li> </ul> | <p>関人関係</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・あやしてもらおうと喜んだり身振りを真似たり顔を見合わせるなどして、生活や遊びの中で身近な人に興味をもち、身近な大人とのやりとりをする。</li> <li>・担当保育者に十分に接してもらい、安心して園生活を過ごす。</li> </ul> | <p>自信と信頼</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・つかまり立ちやつたい歩きがしやすいような柵や手すりなどを使って十分動く。</li> <li>・素足で過ごす気持ちよさを味わう。</li> <li>・気に入った玩具を手にして遊んだり、色々な素材の遊具で遊んだりする。（チェーン・ロープ・穴落とし・はがす・引っ張る・握る）</li> <li>・戸外遊びを通じて、動植物に親しんだり、直接草花に触れたりして体験を広げていく。</li> </ul> | <p>命と自然</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな絵本を繰り返し読んでもらうことを喜ぶ。</li> <li>・安心できる大人が、ゆっくり優しく語りかける事で、口元の動きを模倣し、声を出し言葉を真似しようとする。</li> <li>・行動一つ一つに言葉がけをしてもらい、その内容を徐々に理解していく。</li> <li>・名前を呼ばれたり、手遊びや歌を聞いたりして、保育者とのコミュニケーションを楽しむ。</li> <li>・保育者に気持ちをくみ取ってもらい、言葉にしてもらいながら、喃語や単語のやりとりをする。</li> </ul> | <p>豊かな情緒</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の欲しいものやして欲しいことを、指差しや喃語で表す。</li> <li>・歌や手遊びに合わせて、体を揺らしたりリズムをとったりする。</li> <li>・興味をもった素材（タンポ・手形・シールはがしなど）に触れて、感触を楽しみながら遊ぶ。</li> </ul> |
| <p>健康な心と体</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・離乳食後期になり、やや粗く刻んだものを食べさせてもらい、手づかみで食べられるものは自分から進んで食べようとする。</li> <li>・コップを両手でしっかり持ったり、自分で持って食べたりして、さまざまな味や食品に慣れる。</li> <li>・活動の合間に定期的におしめを替えてもらい、気持ちよく過ごす。</li> <li>・自分の布団の中で、一定時間安心して眠る。</li> <li>・保育者の膝の上に乗ってズボンをはかせてもらうなど、声をかけられながら、落ち着いて着替える。</li> <li>・生活リズムが整い、睡眠・食事・排泄・着脱など保育者からの誘いに応じる。</li> <li>・誘いかけに応じて、保育者と一緒に手を洗ったり鼻水をためてもらったりすることで気持ち良さを感じる。</li> <li>・運動機能が発達し、自由に両手を使い周囲の人や物に興味をもち、くぐる・掘む・登る・降りるなどいろいろな動きをしながら、探索行動を楽しむ。</li> <li>・興味のある物を親指と他の指を向かい合わせて指でつかもうとする。（拇指対向性）</li> <li>・動作1つ1つや気持ちなどを言葉にしてもらう事で安心して過ごす。</li> </ul>   |               |   |             |   |              |   |             |  |              |  |
| <p>関人関係</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・あやしてもらおうと喜んだり身振りを真似たり顔を見合わせるなどして、生活や遊びの中で身近な人に興味をもち、身近な大人とのやりとりをする。</li> <li>・担当保育者に十分に接してもらい、安心して園生活を過ごす。</li> </ul>   |               |   |             |   |              |   |             |  |              |  |
| <p>自信と信頼</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・つかまり立ちやつたい歩きがしやすいような柵や手すりなどを使って十分動く。</li> <li>・素足で過ごす気持ちよさを味わう。</li> <li>・気に入った玩具を手にして遊んだり、色々な素材の遊具で遊んだりする。（チェーン・ロープ・穴落とし・はがす・引っ張る・握る）</li> <li>・戸外遊びを通じて、動植物に親しんだり、直接草花に触れたりして体験を広げていく。</li> </ul>   |               |   |             |   |              |   |             |  |              |  |
| <p>命と自然</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな絵本を繰り返し読んでもらうことを喜ぶ。</li> <li>・安心できる大人が、ゆっくり優しく語りかける事で、口元の動きを模倣し、声を出し言葉を真似しようとする。</li> <li>・行動一つ一つに言葉がけをしてもらい、その内容を徐々に理解していく。</li> <li>・名前を呼ばれたり、手遊びや歌を聞いたりして、保育者とのコミュニケーションを楽しむ。</li> <li>・保育者に気持ちをくみ取ってもらい、言葉にしてもらいながら、喃語や単語のやりとりをする。</li> </ul>  |               |   |             |   |              |   |             |  |              |  |
| <p>豊かな情緒</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の欲しいものやして欲しいことを、指差しや喃語で表す。</li> <li>・歌や手遊びに合わせて、体を揺らしたりリズムをとったりする。</li> <li>・興味をもった素材（タンポ・手形・シールはがしなど）に触れて、感触を楽しみながら遊ぶ。</li> </ul>  |               |   |             |   |              |   |             |  |              |  |
| <p>環境構成と援助</p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・手づかみで、自分で食べようとする気持ちを大切に見守りながら、スプーンの持ちやすい握り方やコップの持ち方など丁寧に見せていくようにする。離乳食について、給食室と連絡をとりあい、形状や量を話し合っ進められるようにする。</li> <li>・健康状態を把握するために、定期的に検温する。</li> <li>・探索活動が活発になるので、危険な物は取り除き安全な環境を整える。発達や興味に合わせて、体を使って遊べるようにマットや功技台や手作り用具を組み合わせる。</li> <li>・一対一の関わりを大切にしながら、スキンシップをはかるようにし、信頼関係を築いていく。</li> <li>・戸外に出て、安全な環境の中で遊んだり、自然に触れることができるようにする。</li> <li>・玩具の消毒・室内外の遊具の安全点検をこまめにする。</li> <li>・子どもから出た言葉や要求に対しては、見逃さず受け止め対応し、気持ちをくみ取り、優しく接することで満足感を味わえるようにする。</li> <li>・子どもが興味を示すような、いろいろな色や形・音・材質の違う手作り玩具を用意するなどして、見たり聞いたり触ったりして、感覚を楽しめるようにする。</li> <li>・興味のある曲を用意したり、保育者が優しい声で手遊びをしたりしながら、リズムや言葉・身振りを真似ることを楽しむことができるようにする。</li> <li>・保育者間で一人一人の子どもに対して共通した対応ができるよう連携をもつ。</li> </ul>  |               |   |             |   |              |   |             |  |              |  |
| <p>家庭・地域との連携</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での生活の流れや離乳食の進め具合、量、切り方、寝かせ方、好きな絵本などを聞き、家庭に近い受け入れや過ごし方ができるように把握する。</li> <li>・園で気を付けている環境について知らせ、家庭でも子どもの手が届く所には危険な物を置かないようにしたり、段差や硬い床などに気を付けてもらったりし、安全面の配慮について伝えていく。</li> <li>・子どもが出来るようになった事や楽しく過ごせた場面など、連絡ノートや送迎時を利用して伝え、保護者が安心できるようにする。</li> <li>・予防接種や既往症の有無を再確認する。</li> </ul>   |               |   |             |   |              |   |             |  |              |  |

おおむね1歳3ヶ月未満 1歳～1歳1ヶ月

|                        |  |               |   |             |  |           |  |             |  |              |  |
|------------------------|--|---------------|---|-------------|--|-----------|--|-------------|--|--------------|--|
| <p>発達の子どもの主な特徴</p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児食に移行していき、普通のご飯や大人と同じおかずを刻んだものが食べられるようになるが、好き嫌いが出てきて、嫌なものや固い物は吐き出すことがある。自分で手づかみやスプーンを持って食べようとするが、上手くすくえない。</li> <li>・コップを持って、こぼしながらも少しずつ飲めるようになる。</li> <li>・保育者が食事前後に「いただきます」「ごちそうさま」と挨拶をすると、頭を一緒に下げようとする。</li> <li>・午前睡をしなくても午後まですごせる。</li> <li>・宙立ちが増える。全身をよく動かし、はいはいや伝い歩きで探索を楽しむ。</li> <li>・名前を呼ばれると手をあげる。</li> <li>・特定の大人とのかかわりの中で、歌や手遊びに喜んで反応し、まねをしようとする。</li> <li>・「いないいないばあ」「プープー」と意味のある言葉をしきりに言う。</li> <li>・散歩車（ベビーカー）に乗って園周辺に散歩に出かけ、いろいろな物を見て「ワンワン」「ニャーニャー」と言う。</li> <li>・他児のしていること、持っている物に興味をもち、近寄ったり、他児に触ったり、持っている物を取ろうとしたりする。</li> <li>・自分の思いが通じないと首を横に振ったり、手を振り払ったり、泣いたりする。</li> </ul>   |               |   |             |  |           |  |             |  |              |  |
| <p>ねらい<br/>(教育・保育)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全身を使った遊びを楽しみながら、歩行への興味をもつ。</li> <li>・特定の大人が優しく繰り返し応答することで、愛着心や信頼関係を深めていく。</li> </ul>   |               |   |             |  |           |  |             |  |              |  |
| <p>経験させたい内容</p>        | <table border="1"> <tr> <td data-bbox="220 663 268 842"> <p>健康な心と体</p> </td> <td data-bbox="268 663 1418 842"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・徐々に幼児食に慣れ、自分で食べたいものを食べようとしたり、スプーンですくおうとしたりして、意欲的によくかんで食べる。</li> <li>・機嫌の良い時には、保育者に誘われてオマールに座ってみる。</li> <li>・保育者に見守られて、一定時間、午後睡をする。</li> <li>・着脱してもらう時に、保育者の誘いに応じて、手足を動かそうとする。</li> <li>・保育者と一緒に手洗いをすることに慣れる。</li> <li>・ひとり立ちでバランスを取ったり、身近な大人に促してもらい、歩こうする。</li> <li>・マットや滑り台などの遊具で、登る、すべる、転がるなど、さまざまな動きをする。</li> <li>・思いや表現を受け止めてもらったり、優しく応答してもらったりすることで安心して過ごす。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="220 842 268 969"> <p>人間関係</p> </td> <td data-bbox="268 842 1418 969"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の大人や友達への関心が強くなり、自分からかかわったり、模倣して遊んだりする。</li> <li>・いろいろな活動に参加し、興味が広がる。</li> <li>・保育者の膝の上で絵本を見たり、手遊びをしったりしてふれあいの楽しさを味わう。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="220 969 268 1075"> <p>環境</p> </td> <td data-bbox="268 969 1418 1075"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者に見守ってもらいながら、自分の興味をもった遊びや好きな玩具を見つけて、積極的に遊ぶ。</li> <li>・生活や遊びの中で、自分の周りの物に興味をもち、見る、聞く、触れるなどする。</li> <li>・戸外遊びや散歩を通して、四季の自然や身近な小動物を見たり触れたりしながら、興味をもつ。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="220 1075 268 1202"> <p>命と自然</p> </td> <td data-bbox="268 1075 1418 1202"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な絵本を読んでもらい、知っている物を指さしたり、声に出したりする。</li> <li>・大人から自分に向けられた気持ちや簡単な言葉がわかり、反応する。</li> <li>・特定の大人の言葉をまねて、「ワーワー」「プープー」「パーパー」などの言葉が増えたり、喃語や片言で相手に気持ちを伝えようとする。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="220 1202 268 1290"> <p>豊かな情操</p> </td> <td data-bbox="268 1202 1418 1290"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と一緒に、歌や手遊びに合わせて手や体を動かしたり、音を出したり、模倣したりすることを喜ぶ。</li> <li>・意志や要求を身振りや片言で表現する。</li> </ul> </td> </tr> </table> | <p>健康な心と体</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・徐々に幼児食に慣れ、自分で食べたいものを食べようとしたり、スプーンですくおうとしたりして、意欲的によくかんで食べる。</li> <li>・機嫌の良い時には、保育者に誘われてオマールに座ってみる。</li> <li>・保育者に見守られて、一定時間、午後睡をする。</li> <li>・着脱してもらう時に、保育者の誘いに応じて、手足を動かそうとする。</li> <li>・保育者と一緒に手洗いをすることに慣れる。</li> <li>・ひとり立ちでバランスを取ったり、身近な大人に促してもらい、歩こうする。</li> <li>・マットや滑り台などの遊具で、登る、すべる、転がるなど、さまざまな動きをする。</li> <li>・思いや表現を受け止めてもらったり、優しく応答してもらったりすることで安心して過ごす。</li> </ul> | <p>人間関係</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の大人や友達への関心が強くなり、自分からかかわったり、模倣して遊んだりする。</li> <li>・いろいろな活動に参加し、興味が広がる。</li> <li>・保育者の膝の上で絵本を見たり、手遊びをしったりしてふれあいの楽しさを味わう。</li> </ul> | <p>環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者に見守ってもらいながら、自分の興味をもった遊びや好きな玩具を見つけて、積極的に遊ぶ。</li> <li>・生活や遊びの中で、自分の周りの物に興味をもち、見る、聞く、触れるなどする。</li> <li>・戸外遊びや散歩を通して、四季の自然や身近な小動物を見たり触れたりしながら、興味をもつ。</li> </ul> | <p>命と自然</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な絵本を読んでもらい、知っている物を指さしたり、声に出したりする。</li> <li>・大人から自分に向けられた気持ちや簡単な言葉がわかり、反応する。</li> <li>・特定の大人の言葉をまねて、「ワーワー」「プープー」「パーパー」などの言葉が増えたり、喃語や片言で相手に気持ちを伝えようとする。</li> </ul> | <p>豊かな情操</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と一緒に、歌や手遊びに合わせて手や体を動かしたり、音を出したり、模倣したりすることを喜ぶ。</li> <li>・意志や要求を身振りや片言で表現する。</li> </ul> |
| <p>健康な心と体</p>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・徐々に幼児食に慣れ、自分で食べたいものを食べようとしたり、スプーンですくおうとしたりして、意欲的によくかんで食べる。</li> <li>・機嫌の良い時には、保育者に誘われてオマールに座ってみる。</li> <li>・保育者に見守られて、一定時間、午後睡をする。</li> <li>・着脱してもらう時に、保育者の誘いに応じて、手足を動かそうとする。</li> <li>・保育者と一緒に手洗いをすることに慣れる。</li> <li>・ひとり立ちでバランスを取ったり、身近な大人に促してもらい、歩こうする。</li> <li>・マットや滑り台などの遊具で、登る、すべる、転がるなど、さまざまな動きをする。</li> <li>・思いや表現を受け止めてもらったり、優しく応答してもらったりすることで安心して過ごす。</li> </ul>  |               |   |             |  |           |  |             |  |              |  |
| <p>人間関係</p>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の大人や友達への関心が強くなり、自分からかかわったり、模倣して遊んだりする。</li> <li>・いろいろな活動に参加し、興味が広がる。</li> <li>・保育者の膝の上で絵本を見たり、手遊びをしったりしてふれあいの楽しさを味わう。</li> </ul>   |               |   |             |  |           |  |             |  |              |  |
| <p>環境</p>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者に見守ってもらいながら、自分の興味をもった遊びや好きな玩具を見つけて、積極的に遊ぶ。</li> <li>・生活や遊びの中で、自分の周りの物に興味をもち、見る、聞く、触れるなどする。</li> <li>・戸外遊びや散歩を通して、四季の自然や身近な小動物を見たり触れたりしながら、興味をもつ。</li> </ul>   |               |   |             |  |           |  |             |  |              |  |
| <p>命と自然</p>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な絵本を読んでもらい、知っている物を指さしたり、声に出したりする。</li> <li>・大人から自分に向けられた気持ちや簡単な言葉がわかり、反応する。</li> <li>・特定の大人の言葉をまねて、「ワーワー」「プープー」「パーパー」などの言葉が増えたり、喃語や片言で相手に気持ちを伝えようとする。</li> </ul>   |               |   |             |  |           |  |             |  |              |  |
| <p>豊かな情操</p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と一緒に、歌や手遊びに合わせて手や体を動かしたり、音を出したり、模倣したりすることを喜ぶ。</li> <li>・意志や要求を身振りや片言で表現する。</li> </ul>   |               |   |             |  |           |  |             |  |              |  |
| <p>環境構成と援助</p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭的で落ち着いた環境づくりを心掛け、安心して過ごせるようにする。</li> <li>・衛生的で安全な環境づくりに常に心がける。</li> <li>・子どもの目線から室内外の安全点検をし、拾って口に入れるものがないか確認する。</li> <li>・歩行が不安定な時なので、周囲につまずいたり、転んでぶつかったりするものがないように、室内外の危険箇所、遊具をチェックをしておく。</li> <li>・手先を使う遊びのできる手作り遊具を用意する。(ポットン落とし、マジックテープはがしなど)</li> <li>・季節や行事を感じられる壁画やディスプレイを飾り、視覚的に楽しめるようにする。</li> <li>・離乳食が順調に進んでいるか一人一人を注意深く見て、丸飲み、吸い食べ、口の中への溜め込み、咀嚼が弱いなどがみられる場合は、どこの段階でつまずいているかを見極めて個別に対応する。</li> <li>・意欲的に食べる姿を見守り、食べにくい物、持ちにくい物には手を添えていく。</li> <li>・好き嫌いの出てきた子どもには、量や大きさを加減したり、好きなものに混ぜたりして工夫を凝らしながら、無理なく食べられるようにする。</li> <li>・滑り台やマットを利用して、登る、すべる、転がるなどのさまざまな動きが楽しめるようにし、保育者はすぐに支えられる位置につき、安全に遊べるように配慮する。</li> <li>・保育者が手を添えて移動したり、園庭を歩いたりして、体を動かす楽しさが味わえるようにする。</li> <li>・保育者も子どもと一緒に遊びを楽しみながら、友達への興味関心がもてるように働きかける。</li> <li>・喃語や片言、動作から欲求や興味に気づき、気持ちを代弁しながら、発語につながる言葉かけやかかわりを大切にしていく。</li> <li>・保育者は、子どもにわかりやすく、ゆっくりはっきりとやさしく語りかけるようにする。</li> </ul>  |               |   |             |  |           |  |             |  |              |  |
| <p>家庭・地域との連携</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が悩みを相談したいと思えるように、ゆったりと接し、個々に合わせた対応を心がける。</li> <li>・連絡帳や送迎時に子どもの様子を伝え合い、お互いの状態を把握し、共通理解ができるようにする。</li> <li>・保護者と子育てについての思いを共感し、子育ての喜びが感じられるよう園生活を通しての子どもの様子をこまめに知らせいきながら、信頼関係を築いていく。</li> <li>・流行性疾患についての特徴や情報を伝え、疾患の早期発見、早期治療につなげていく。</li> <li>・生活リズムが安定してくるので、早寝早起きの大切さを知らせ、子どもの生活リズムに合わせて無理なく過ごせるように話し合っていく。(保護者にあった伝え方をする。)</li> <li>・園外保育で出会った人に保育者から声をかけ、相手に気づいて、見たり、手を振ったりし、地域のかかわりを広げていく。</li> </ul>   |               |   |             |  |           |  |             |  |              |  |

おおむね1歳3ヶ月未満 1歳2ヶ月

|  |  |                                   |  |                  |  |                        |   |                       |   |                                  |   |
|--|--|-----------------------------------|--|------------------|--|------------------------|---|-----------------------|---|----------------------------------|---|
| <p>発達<br/>の<br/>主<br/>な<br/>特<br/>徴</p>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児食になり、手づかみやスプーンで意欲的に食べようとするが、こぼす事が多い。好んでいた食べ物を嫌がったり、好き嫌いがはっきりし、嫌いな食べ物や固いものは吐き出すことがある。</li> <li>・オマルに慣れ、嫌がらずに座り、タイミングが合えば、オマルで出ることもある。おしめを自分で上へ持ち上げようとする子どももいる。</li> <li>・午前睡をしないで、午後1回の昼寝になる。午前中に眠くなったり昼食中に眠くなることもある。自分の布団に落ち着いて入り、一定時間眠れる。同じ部屋の先生が側にいると、安心して眠る。哺乳瓶をくわえて眠ることは、なくなってくる。</li> <li>・保育者と一緒に喜んで手洗いをする。</li> <li>・落ちている物を、つまんで拾えるようになる。一人歩きをするようになり、盛んに探索する。靴を履いて外で遊ぶことを喜ぶ。つかまらずに歩けたり、一人で立ち上がって歩いたりもできる。また、うしろへ転びそうになると、両手を後ろへついて体を支えようとすることもある。</li> <li>・歌や手遊びが始まると、立って手拍子したり、体を揺らしたりする。手遊びやふれあい遊びを喜んだり、一緒に遊ぶというのではないが、友達と同じ玩具を触って、遊んだりする事もある。</li> <li>・砂場で砂に触れて遊ぶ事を喜ぶ。</li> <li>・言葉の意味が少しずつ分かり始め、保育者からの「ごはんだよ」「ねんねしようね」などの誘いかけに反応するようになる。「ちようだい」と言うと、手渡ししてくれるようになる。絵本にも興味を示すようになり、よく見つめるようになる。「バイバイ」「ありがとう」「ちようだい」などの身振りを活発にする。</li> </ul>   |                                   |  |                  |  |                        |   |                       |   |                                  |   |
| <p>養育<br/>（園）<br/>・<br/>わら<br/>い</p>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者に見守られて、応答してもらいながら、安心して自分の思いをしぐさや片言で表す。</li> <li>・安定したリズムの中で、食事や排泄などの身の回りの事に少しずつ意欲がもてるようになる。</li> <li>・子どもの興味関心を優しく受け止め、共感し、満足感を得られるようにする。</li> <li>・指先を使った遊びや全身を動かす遊びなどが十分楽しめるように環境を整え、探究心を高めていく。</li> </ul>  |                                   |  |                  |  |                        |   |                       |   |                                  |   |
| <p>経験<br/>させ<br/>たい<br/>内容</p>                           | <table border="1"> <tr> <td data-bbox="252 622 319 772"> <p>健康<br/>な<br/>心<br/>と<br/>体</p> </td> <td data-bbox="319 622 1428 772"> <p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児食に慣れ、意欲的に手づかみで食べたりスプーンを使って食べたりする。</li> <li>・保育者に見守られ、自分の布団を見ると安心して寝ころび、一定時間落ち着いて眠る。</li> <li>・保育者に見守られ、オマルに座り、タイミングが合えば排泄できる。</li> <li>・保育者に促してもらい、着脱に応じて、手足を動かしていく。</li> <li>・保育者と一緒に手洗いをすることに慣れ、自分でも手を動かして洗う。</li> <li>・歩いて探索活動をする。</li> <li>・思いや表現を受け止めもらったり、優しく応答してもらうことで安心して過ごす。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 772 319 862"> <p>人間<br/>関係</p> </td> <td data-bbox="319 772 1428 862"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者に抱っこやひざに座らせてもらい、甘えを満たしてもらう。</li> <li>・身近な大人や友達への関心が強くなり、自分から関わっていったり、模倣して遊んだりする。</li> <li>・友達の側に行くと触ったり、友達の持っている玩具を取ろうとするなど、友達とかがわろうとする。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 862 319 929"> <p>自信<br/>と<br/>信頼</p> </td> <td data-bbox="319 862 1428 929"> <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広々として安全な空間の中で安心できる大人と一緒に落ち着いて過ごす。</li> <li>・戸外遊びや散歩を通して、身近な小動物や身の周りの自然を見たり触れたり聞いたりする。</li> <li>・砂や水に触れて、感触を楽しむ。</li> <li>・保育者に見守ってもらいながら、自分の興味を持った遊びや好きな玩具を見つけて積極的に遊ぶ。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 929 319 1064"> <p>命<br/>と<br/>自然</p> </td> <td data-bbox="319 929 1428 1064"> <p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本を繰り返し読んでもらう事を楽しみ、知っている物や関心のある物を指差して知らせたり「プー」「バイバイ」など片言で話そうとする。</li> <li>・「いただきます」や「さようなら」など言葉の意味が分かり、身振りで示そうとする。</li> <li>・大人から自分に向けられた気持ちや簡単な言葉が分かり、反応したり行動したりしようとする。</li> <li>・名前を呼ばれると反応したり手をあげたりする。</li> <li>・身近な大人の言葉をまねて、片言が増えたり、喃語や片言で相手に気持ちを伝えようとする。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1064 319 1191"> <p>豊<br/>か<br/>な<br/>情<br/>操</p> </td> <td data-bbox="319 1064 1428 1191"> <p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・玩具を取られると「あー」と叫んで怒ったり、他児の方へ手を伸ばそうとしたりする時など、保育者に気持ちを言葉で表現してもらい、満足感を味わう。</li> <li>・音楽を聞き、リズムによって体や手を動かしたり、音がなる玩具をならしたりする。</li> <li>・保育者と一緒に、歌や手遊びに合わせて、手や体を動かしたり、模倣したりする。</li> <li>・意思や欲求を表情や身ぶり、片言で表現する。</li> </ul> </td> </tr> </table> | <p>健康<br/>な<br/>心<br/>と<br/>体</p> | <p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児食に慣れ、意欲的に手づかみで食べたりスプーンを使って食べたりする。</li> <li>・保育者に見守られ、自分の布団を見ると安心して寝ころび、一定時間落ち着いて眠る。</li> <li>・保育者に見守られ、オマルに座り、タイミングが合えば排泄できる。</li> <li>・保育者に促してもらい、着脱に応じて、手足を動かしていく。</li> <li>・保育者と一緒に手洗いをすることに慣れ、自分でも手を動かして洗う。</li> <li>・歩いて探索活動をする。</li> <li>・思いや表現を受け止めもらったり、優しく応答してもらうことで安心して過ごす。</li> </ul> | <p>人間<br/>関係</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者に抱っこやひざに座らせてもらい、甘えを満たしてもらう。</li> <li>・身近な大人や友達への関心が強くなり、自分から関わっていったり、模倣して遊んだりする。</li> <li>・友達の側に行くと触ったり、友達の持っている玩具を取ろうとするなど、友達とかがわろうとする。</li> </ul> | <p>自信<br/>と<br/>信頼</p> | <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広々として安全な空間の中で安心できる大人と一緒に落ち着いて過ごす。</li> <li>・戸外遊びや散歩を通して、身近な小動物や身の周りの自然を見たり触れたり聞いたりする。</li> <li>・砂や水に触れて、感触を楽しむ。</li> <li>・保育者に見守ってもらいながら、自分の興味を持った遊びや好きな玩具を見つけて積極的に遊ぶ。</li> </ul> | <p>命<br/>と<br/>自然</p> | <p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本を繰り返し読んでもらう事を楽しみ、知っている物や関心のある物を指差して知らせたり「プー」「バイバイ」など片言で話そうとする。</li> <li>・「いただきます」や「さようなら」など言葉の意味が分かり、身振りで示そうとする。</li> <li>・大人から自分に向けられた気持ちや簡単な言葉が分かり、反応したり行動したりしようとする。</li> <li>・名前を呼ばれると反応したり手をあげたりする。</li> <li>・身近な大人の言葉をまねて、片言が増えたり、喃語や片言で相手に気持ちを伝えようとする。</li> </ul> | <p>豊<br/>か<br/>な<br/>情<br/>操</p> | <p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・玩具を取られると「あー」と叫んで怒ったり、他児の方へ手を伸ばそうとしたりする時など、保育者に気持ちを言葉で表現してもらい、満足感を味わう。</li> <li>・音楽を聞き、リズムによって体や手を動かしたり、音がなる玩具をならしたりする。</li> <li>・保育者と一緒に、歌や手遊びに合わせて、手や体を動かしたり、模倣したりする。</li> <li>・意思や欲求を表情や身ぶり、片言で表現する。</li> </ul> |
| <p>健康<br/>な<br/>心<br/>と<br/>体</p>                        | <p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児食に慣れ、意欲的に手づかみで食べたりスプーンを使って食べたりする。</li> <li>・保育者に見守られ、自分の布団を見ると安心して寝ころび、一定時間落ち着いて眠る。</li> <li>・保育者に見守られ、オマルに座り、タイミングが合えば排泄できる。</li> <li>・保育者に促してもらい、着脱に応じて、手足を動かしていく。</li> <li>・保育者と一緒に手洗いをすることに慣れ、自分でも手を動かして洗う。</li> <li>・歩いて探索活動をする。</li> <li>・思いや表現を受け止めもらったり、優しく応答してもらうことで安心して過ごす。</li> </ul>   |                                   |  |                  |  |                        |   |                       |   |                                  |   |
| <p>人間<br/>関係</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者に抱っこやひざに座らせてもらい、甘えを満たしてもらう。</li> <li>・身近な大人や友達への関心が強くなり、自分から関わっていったり、模倣して遊んだりする。</li> <li>・友達の側に行くと触ったり、友達の持っている玩具を取ろうとするなど、友達とかがわろうとする。</li> </ul>   |                                   |  |                  |  |                        |   |                       |   |                                  |   |
| <p>自信<br/>と<br/>信頼</p>                                   | <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広々として安全な空間の中で安心できる大人と一緒に落ち着いて過ごす。</li> <li>・戸外遊びや散歩を通して、身近な小動物や身の周りの自然を見たり触れたり聞いたりする。</li> <li>・砂や水に触れて、感触を楽しむ。</li> <li>・保育者に見守ってもらいながら、自分の興味を持った遊びや好きな玩具を見つけて積極的に遊ぶ。</li> </ul>  |                                   |  |                  |  |                        |   |                       |   |                                  |   |
| <p>命<br/>と<br/>自然</p>                                    | <p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本を繰り返し読んでもらう事を楽しみ、知っている物や関心のある物を指差して知らせたり「プー」「バイバイ」など片言で話そうとする。</li> <li>・「いただきます」や「さようなら」など言葉の意味が分かり、身振りで示そうとする。</li> <li>・大人から自分に向けられた気持ちや簡単な言葉が分かり、反応したり行動したりしようとする。</li> <li>・名前を呼ばれると反応したり手をあげたりする。</li> <li>・身近な大人の言葉をまねて、片言が増えたり、喃語や片言で相手に気持ちを伝えようとする。</li> </ul>  |                                   |  |                  |  |                        |   |                       |   |                                  |   |
| <p>豊<br/>か<br/>な<br/>情<br/>操</p>                         | <p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・玩具を取られると「あー」と叫んで怒ったり、他児の方へ手を伸ばそうとしたりする時など、保育者に気持ちを言葉で表現してもらい、満足感を味わう。</li> <li>・音楽を聞き、リズムによって体や手を動かしたり、音がなる玩具をならしたりする。</li> <li>・保育者と一緒に、歌や手遊びに合わせて、手や体を動かしたり、模倣したりする。</li> <li>・意思や欲求を表情や身ぶり、片言で表現する。</li> </ul>  |                                   |  |                  |  |                        |   |                       |   |                                  |   |
| <p>環<br/>境<br/>構<br/>成<br/>と<br/>援<br/>助</p>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びによって、スペースを区切ったり、立った姿勢で遊べる物を用意したりと集中して遊べる環境構成をする。</li> <li>・自分のやりたいという気持ちを大切に、保育者は根気よく待つやめる事を忘れない。</li> <li>・食事の際には、足元に台を置くなどして、足が宙に浮かないような工夫をし、落ち着いて食べられるようにする。</li> <li>・自分でスプーンを使って食べようとする姿を大切に見守りながら、スプーンの使い方を優しく知らせていくようにする。</li> <li>・自分から食べようとする意欲を大切に、一人一人の量や食べ方に合わせて介助していく。</li> <li>・意欲的に食べる姿を見守り、必要に応じて食べにくい物、持ちにくい物は、手を支えて援助していく。好き嫌いが出てきた子どもには、量や大きさを加減したり、好きな物に混ぜたりと工夫を凝らしながら、無理なく食べられるようにする。</li> <li>・午睡時にはカーテンをするなどして部屋を少し暗くし安心して眠れるようにしたり、目覚めの時には、無理やり起こすのではなく自然の目覚めを待つようにしたりする。一人一人のリズムを大切にしながら、安心して午睡ができるようにする。</li> <li>・歩けるようになり、活動範囲が広がるので、周囲につまづいたり、転んでぶつかったりする危険物がなければ確認し、安全に活動できるようにする。</li> <li>・子どもの目線から室内外の安全点検をし、拾って口に入れるようなものがないか確認する。</li> <li>・手先を使った遊びが多様に行えるよう、さまざまな形や素材、大きさの玩具や手作り玩具を用意していく。</li> <li>・排泄のタイミングや機嫌を見て誘いながら、一人一人に合った方法や言葉がけでおしめ交換をしていく。</li> <li>・食事前、外出後など、手洗いをする習慣をつけるようにし、感染症予防や清潔にする習慣が身につくようにする。</li> <li>・玩具をとられると「あー！」と叫んで怒ったり、他児の方へ手を伸ばそうとしたりする時など、保育者に気持ちを言葉で表現してもらい、満足感を味わえるようにする。</li> <li>・保育者と好きな遊びを一緒に楽しみながら、友達への興味やかかわりの仲立ちをしていく。</li> <li>・他児にも関心を示すよう、遊びの場面などで子ども同士を近くにできるような工夫をしていく。</li> <li>・一人一人の興味や好きな遊びを把握し、興味をもって遊びに集中し一人遊びが満足してできるように、スペースや時間や玩具を整える。</li> <li>・自然を感じたり、自然物を見たり、触れたりできるような散歩コースを事前に確認する。子どもたちが自ら発見していく楽しさを感じたり、興味や関心を高めたりするために、散歩に出かける時には、十分時間をとったり、指をさした物と一緒に発見を共有したりする。</li> <li>・季節や行事を感じられる壁面やディスプレイを飾り、視覚的に楽しめるようにする。</li> <li>・思いを言葉にできず、かみつくこともあるが、保育者が思いをくみ取り、安定した気持ちで過ごせるようにする。</li> <li>・喃語や片言、動作から欲求に気付き、気持ちを代弁しながら、発語につながる言葉がけやかかわりを大切にしていく。</li> <li>・保育者は、子どもの言葉や表現を受け止め、分かりやすく、ゆっくり、はっきりとやさしく受容した言葉を返していく。</li> <li>・子どもの好きな手遊びや曲を用意し、身体を揺すったり踊ったりする事が楽しめるようにする。</li> </ul>  |                                   |  |                  |  |                        |   |                       |   |                                  |   |
| <p>家<br/>庭<br/>・<br/>地<br/>域<br/>と<br/>の<br/>連<br/>携</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳や送迎時に子どもの様子を伝え合い、お互いの状態を把握し、共通理解が出来るようにする。</li> <li>・保護者と子育てについて思いを共感し、子育ての喜びが感じられるよう園生活を通して子どもの成長をこまめに知らせていきながら、信頼関係を築いていく。</li> <li>・流行性疾患について特徴や情報を伝え、疾患の早期発見、早期治療につなげていく。</li> <li>・生活リズムが安定してくるので、早寝、早起きの大切さを知らせ、子どもの生活リズムに合わせて無理なく過ごせるように話し合っていく。（保護者にあつた伝え方をする）</li> <li>・歩行ができることにより、動きやすい服装や足に合った靴の準備をしてもらう。</li> <li>・園外保育で出会った人に、保育者から声をかけ、相手に気付いて見たり、手を振ったりする。</li> </ul>   |                                   |  |                  |  |                        |   |                       |   |                                  |   |